

夢きらり

実りを実感！そして感謝！

11月2日(金)、1年間お世話になった農業科支援員の方々をお招きしての「収穫感謝祭」を行いました。前日から里芋や、にんじんを畑から収穫し、当日は、朝から全校生で仕事を分担して料理をつくりました。1. 2年生は、自分たちで育てたサツマイモを包丁で切って蒸かし芋をつくりました。3. 4年生は、鍋に入れる里芋やにんじんの皮をむきました。5年生は、自分たちが収穫したお米をといで炊飯の準備をしました。6年生は、芋汁に入れる野菜を切ったり、鍋に味付けをしたりしました。

テーブルに並んだ野菜のほとんどは、子ども達が育てたもので、また、芋汁の味付けに使った味噌も6年生が5年生の2月に自分たちの育てた大豆を使って仕込んで、できあがったばかりの味噌です。味は言うまでもなく格別においしい味でした。

農業科の学習をとおして、子ども達は自分たちの食卓に並ぶ食べ物が多くの手間をかけてつくられ、多くの人の思いがこめられていることを実感できました。そして、農業科の活動を支えてくださった農業科支援員のみなさんに、心から感謝していました。

農業科支援員のみなさん、1年間本当にお世話になりました。ありがとうございました。

収穫感謝祭



1. 2年生のサツマイモの料理



3. 4年生の野菜の皮むき



5年生の米とぎ



6年生の芋汁づくり



お忙しい中おいでくださった農業科支援員のみなさん



農業科支援員の方からのお話



感謝の言葉を話す6年生

夢を持つこと

喜多方っ子の「夢」実現事業

10月26日(水) 喜多方市教育委員会主催の喜多方っ子の「夢」実現事業が喜多方プラザで行われました。講演者は「国立天文台副台長の渡部潤一先生」で、小学生の時に流星群を見られなかったことから、宇宙について研究したいという「夢」を持ち続け努力して、夢を叶えることができたというお話でした。高郷の子ども達にも、大きな夢をもってほしいですね。



